



ゲーテハウス (ワイマール)

Neues in Nara

Nr. 72
2020年6月26日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

●行事予定

1. ビア・アーベント(7月18日)は、中止します。
2. ドイツ料理教室(9月末)は、会場が可能であれば開催する予定(8月末時点で決定)。
3. 第27回シュタムティッシュ(10月4日)は、大安寺の大ホール「獅子吼殿」か、オンラインにて開催予定(詳細後日お知らせします)。

「コロナ禍によせて」 河野良文

全世界を恐怖と不安に陥れているコロナ・ウィルスは、思いもよらぬ「想定外」の大厄となりました。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？緊急事態宣言は解除されましたが、さまざまな自粛が続く中で、心身共にご健勝でありますよう祈念申し上げます。

疫病は文明社会の必然といわれ、古来様々な伝染病に人々は苦しめられてきました。古くは天然痘やハンセン病、ペスト(黒死病)、コレラ、100年前のスペイン風邪、近年のSARSやMARS、そしてこの度のCOVID-19。

医学が進んだ今日、武漢で発祥した頃は、割合樂觀的な見方がされていましたが、やはりこのコロナの方が上手であったようです。瞬く間に全世界に広がってしまいました。

厄介なのは、症状の有無にかかわらず人に感染することです。いつ自分が移され、いつ人に移すかわからない。陽性で無症状の人であれば、人によって急激に重症化して死に至る方も出てしまう。芸能界の志村けんさんや岡江久美子さんの死は衝撃的でした。日本で5月25日現在、825人以上の尊い命が失われました。世界の死者は35万人に達しようかとしており、更に増えることが予測されます。ドイツではホームドクター制が整っていて、感染者の割に医療崩壊は起きにくいといわれましたが、それでも8千人以上の方が亡くなられています。各国でワクチンや特効薬の開発が急がれていますが、そう簡単でもないようです。基礎疾患があったり、高齢で免疫力の弱い人は重篤になりやすいようですからその脅威は深刻です。

奈良時代に平城京を襲った天然痘は、庶民のみならず、中央貴族として権力の中枢にいた藤原4兄弟を全滅させました。人々の恐怖と不安は今日の比ではなかったでしょう。九州の大宰府に発生し、一気に平城京にまで広がったようで、実は遣唐使によって大陸から持ち込まれたと推測されています。つまり、当時でもそれだけ人の移動と接触があったことを示しているのです。人の移動がなければ、疫病も

一地方の風土病として治まったことでしょう。第一次大戦時のスペイン風邪では数千万人が亡くなったとされますが、戦争での将兵の移動によって瞬く間に全世界に蔓延したといわれます。今日のグローバル社会では全地球規模で人は移動し、至る所で接触しますから、ウィルスにとって広がるのは簡単だといえます。ウィルスを完全になくすことは不可能でしょうから、あとは如何に共存するかです。蔓延は何れ収束することが歴史的に明らかとはいえず、感染を防ぐための人としての理性と心がけが今、求められています。

ソーシャル・ディスタンスが叫ばれますが、社会的距離は孤独を齎します。むしろフィジカル・ディスタンスとして、身体距離は適当に保ち、社会的には人と人との繋がりを大事にしたいものです。奈良日独協会の活動も当面は中止となっていますが、今はお互いに「感染しない・感染させない」という心がけで乗り越えたいものです。

自粛の日々はストレス倍増という方もありましょう。体力維持に運動は欠かせませんが、精神衛生には瞑想がお勧めです。瞑想は本来宗教的なものですが、その基本は呼吸法にあります。近頃は宗教色をなくしたマインドフルネスももてはやされています。

- 1、椅子でも座布団でも可。背中を伸ばして腰骨を立てます。
- 2、顎を少し引き、頭を真っすぐにします。
- 3、左手を仰向け、右手を重ね、親指を軽く合わせて臍のあたりに置きます。
- 4、目は半眼、若しくは軽く閉じます。
- 5、自分の呼吸を数えます。吐く息は口からゆっくり(15秒程)はいて、徐々に下腹をへこませ、吸う息は鼻から短めに(5秒程)吸い、お腹を膨らませる(腹式呼吸)。吐いて吸うを1として、10まで数えます。
- 6、これを数回繰り返します。いろんな思いが湧いてきても、追いかけて、とらわれず、さらりと流しながら、呼吸そのものに意識を向けます。
- 7、心が落ち着いて、気持ちよく座っている自分を感じましょう。静かに目を開け、最後に合掌して終わります。

肺は意識的にも、また無意識でも動くただ一つの臓器です。呼吸を調整することで無意識の領域にまで踏み込むことができるのが瞑想です。

姿勢を調え(調身)、息を調え(調息)、心調う(調心)。お寺では毎週日曜日、朝7時30分から30分間、本堂で数人の方と瞑想をしています。参加自由ですのでどうぞお出で下さい。

(裏面もご覧ください)

工樂猛志さん（ドイツ在住会員）から

「ドイツのコロナ事情」

ドイツでは、コロナの影響で設けられた制限の解除や経済活性化が議論されていますが、半年前は普通に生活していたのが昔のように感じます。振り返ってみますと、ドイツで初めて COVID-19 コロナの感染者が認知されたのは 2020 年 1 月 27 日ミュンヘン近郊でした。その後、2 月 24 日には、イタリアでの感染の広がりを受けてシュパーン保健大臣がコロナウィルスがドイツへ広がる可能性を示唆しました。そして、2 月 25 日にはバーデン＝ヴュルテンベルク州及びノルトライン＝ヴェストファーレン州にて感染者がいるというニュースが話題になりました。

そのあと一気に増え、3 月 16 日には感染者の数は 1 万を超えており学校が閉鎖、18 日にはメルケル首相が国民に向けてのスピーチをし、22 日は各州が接触制限（公共空間における滞在は、単身か家族以外の 1 名、または家族の同伴に限る）またスーパー、薬局、銀行、郵便局など生活に絶対必要なもの以外は閉鎖を発表。このころは感染者は累計 3 万人を超えてました。

これらの対策の効果は、メルケル首相のスピーチの 2 週間半後になって初めて週の新規感染者がピークの 3.7 万人（累計 10 万人）から 3 万人に減りようやく数字に表れるようになりました。ここで驚いたのは、意思決定の速さです。各州に実権がありなかなかまとまらないのがドイツですが、今回制限の実行については、大切なポイントで首相と州知事がビデオ会議でドイツ全土の進む方向を決めていきました。現在解除に向けて各州は状況に応じてバラバラにルールを決めつつありますが、いざとなった時はメルケル首相と各州知事を中心に意思決定がされるのかと思います。まだまだ続きますが、『Bleiben Sie Gesund』



通常バスは前から乗りますが、運転手の感染リスクを下げるため、前方のドアは閉鎖、運転手の席と客席の間にはビニールシートがはられています。



スーパーでは 1.5m のラインが引かれ、キャッシャーの前にはプラスチックの透明盤が掲げられています。（マスクの義務化前に撮影）

●会員だより

土谷真理子さんから

「ゲーテと日本の銀杏」

昨夏、ドイツの文豪ゲーテの街・ワイマールを文献調査のために訪れた折、イチヨウの鉢植えや種が売られている店を見つけた。その 2 階には Ginkgo Museum という資料室がある。イチヨウはドイツ語でギンコといい、日本語の「銀杏：ギンキョウ」が語源らしい。もとは日本と中国のみに自生する木だが、17 世紀にドイツの博物学者で医師のケンペル (Kämpfer) が出島からオランダへ持ち込み、欧州全土に広がった。彼の見聞録『日本誌』を愛読したゲーテは、「イチヨウの葉 Ginkgo Biloba」という詩を詠んだ。その縁でワイマールのゲーテハウス近くに Ginkgo Museum があるわけで、日本を知らずに生涯を送ったゲーテにも、間接的ながら日本との繋がりがあるのだ。

東の国からはるばると
移し植えられたこの葉には
心ある人をよろこばす
ひそやかな意味がかくれています
もともとこれは一枚の葉が
二つに分れたものでしょうか
それとも二枚が結ばれ合って
ひとつに見えるものなのでしょうか

この問いに答えようとして
その意味が
わかりました
私の歌にお感じになりませんか
私はひとり
でもあなたとふたりでいるのだと
(小塩節訳)

ある女性と自分の仲をイチヨウの葉に喩えた歌である。彼は東洋への憧憬とともにイチヨウを愛し、イエナの植物園にも植樹した。今や「ゲーテの木 Goethebaum」とも呼ばれるイチヨウは、日本人には馴染み深く、市町村章や校章にもよく使われている。私の母校・大阪大学もその一例で、見事なイチヨウ並木がある。そのため、ワイマールでのイチヨウとの邂逅には、旧友に出遭ったような嬉しさがあった。



ワイマールの図書館にて



Ginkgo Museum の内部
(Web サイト <http://www.ginkgomuseum.de/>)